

センター通信

2019年6、7月〔第250号〕

Create(創造), Challenge(挑戦), Collaborate(協働)を大切に

発行所 社会福祉法人広島市手をつなぐ育成会

広島市就労支援センター

TEL (082) 537-1331

FAX (082) 537-1332

E-mail: si-jusan@gaea.ocn.ne.jp

http://h-shisyurou.jp/

第39回FFふれあいの広場（第43回ひろしまフラワーフェスティバル）

「平成」から「令和」にかわって初めてとなったフラワーフェスティバルが、5月3日（金）～5日（日）に開催されました。「笑顔でスタート新しい年」というテーマを掲げ、パレードのゴール地点にある国際会議場の前の緑地帯が今年も「ふれあいの広場」になりました。

10連休の後半ということで、来場者数の減少が心配されましたが、晴天にも恵まれて3日間の観客数は昨年以上の170万3千人の人出となりました。「ふれあい広場」の出店販売事業所は、広島市ボランティアセンター（南相馬ボラバス応援団）を入れて20ブース24事業所となり、連休の最中の準備が難しい中、ほぼ昨年程度の参加となりました（昨年は26事業所）。歴代4番目の観客数の割には、ふれあいの広場の来場者数は例年に比べ若干少なめに感じましたが、各事業所の自主製品を購入にさせていただくことで、各施設の活動について知っていただく良い機会となったのではないかと思います。

その他、ふれあいの広場では、昨年に続き「綿菓子コーナー」「カフェコーナー」「スーパースクールすくいコーナー」を設け、来場者の皆様に楽しんで頂きました。更に今年度は、昨年からの懸案事項であった「ガラポン抽選会」を実現することができました。

抽選会を開催するにあたって、協賛品を提供いただいた「(株)やまだ屋」様、「バルコムモーターズ広島」様、「(株)ヤマサキ」様には、心より御礼申し上げます。また、各事業所から自主製品を提供いただき誠に有難うございました。抽選会場は、出てくる玉の色に一喜一憂しながらも、笑い声や笑顔が見られ楽しい雰囲気になりました。ガラポンくじを引くために、何度も買い物に向かわれる方もおられ、売上向上にわずかながら貢献できたのではないかと思います。会場には、海外や県外からのお客様も来られ（外国の方に1等が当たりました。）、福井県から来られた就労施設職員の方は、「ふれあいの広場」で行政の支援による事業所の出店ができていることに感心しておられました。抽選会場の場所が分かりにくかったという声もありましたが、来年度も、更なる集客をめざして、今年度の課題を整理・改善し、より良い「ふれあいの広場」のイベントにしていきたいと考えています。

3日間、参加していただいた事業所並びにボランティアの皆様のご協力に心より感謝いたします。ありがとうございました。



千羽鶴未来プロジェクトと障害者福祉サービス事業所との連携による「千羽鶴再生ファクトリーチーム」が千羽鶴解体作業に携わるようになって7年目を迎えています。14事業所からスタートしたこの事業は、第7期に入り39事業所になりました。千羽鶴解体により生まれ変わった（昇華した）再生紙から、絵はがきをはじめ、リングノート、カンバッジ等様々な商品が生まれています。グッズ製作に係る思いを「すまいるスタジオ」に報告していただきました。

すまいるスタジオ

1.すまいるスタジオの役割

「千羽鶴ファクトリーチーム」は、千羽鶴未来プロジェクトと広島市内約40事業所が協力して、広島市から配布された千羽鶴を解体・仕分けして再生和紙に抄紙し、その再生和紙を使ったグッズを製造・販売するなどの活動を行っています。すまいるスタジオは、千羽鶴再生ファクトリーチームのキーステーションとして、障がいのある方の仕事づくりに日々取り組んでいます。

2.障がいを優とした職人に

すまいるスタジオの工房では、「障がいがあっても職人に」を合言葉に日々訓練を重ね、利用者である職人たちがリングノートやカンバッジなど様々な千羽鶴再生グッズを製作しています。



上野呼人さん（21、写真左）は、特別支援学校を卒業した2016年春からすまいるスタジオの利用を開始して、千羽鶴の解体作業に携わることから始めました。先輩利用者の作業を毎日近くで見ている内に、「自分もやってみたい！」「商品作りに携わりたい！」という気持ちが上野さんの中で芽生えてきました。それから職人になるための訓練を重ね、通所を始めた1年後にはカンバッジやノート作りに携わることができるようになりました。通所を始めた頃は、感情の起伏が激しかった上野さんですが、現在は自分が商品作りに携わっていることを誇りに感じ、毎日落ち着いて穏やかに作業をしています。すまいるスタジオでは、個々の能力を活かしながら、利用者が自信を持って作業に携わることができる環境づくりと、利用者の可能性を信じ、利用者の「やってみたい」という気持ちをいかに引き出せるかを大切にしながら日々支援をしています。

3.共同でグッズの製作を進めています

現在、千羽鶴再生グッズの受注は着実に増えてきています。ファクトリーチームが協力してグッズの製作ができる仕組みを作り、受注できる体制を作っていきたいと考えています。各事業所に職人が育ち、クオリティの高いグッズの製作ができるようになることが、ファクトリーチームの課題だと思います。すまいるスタジオでは、千羽鶴再生グッズの製作に携わりたいファクトリーチームの皆さんに、グッズ製作を体験していただく機会を作っています。是非、見学・体験へお越しください。

—グッズ製作体験メニュー—

【リングノート】

■角丸



■型抜き



■パンチ、リング閉じ



【カンバッジ、マグネット】

■型抜き



■組み立て



■部品つけ



＜すまいるスタジオが出来ること＞

利用者の方が自信を持ってグッズ製作に携わることができるようになるまで、すまいるスタジオで練習を積み重ねていただきます。職人としての技術を身に付けることができた時から、すまいるスタジオよりグッズ製作の作業依頼をさせていただき、必要な機械の貸し出しを製作期間内で行います。

4.オリジナルグッズが製作できます

すまいるスタジオでは、参加チームからの相談を受け、一緒にオリジナル千羽鶴再生グッズの製作を進めています。製作したグッズを自分たちで販売した場合は、作業工賃に加えて販売益が事業所へ入ります。自分たちでグッズを販売することによって、より多くの工賃が利用者の方に還元できます。安芸高田市にある障害福祉サービス事業所「就労センターあっぴ」では、地元の神楽をモチーフにしたオリジナル缶バッジとマグネットを製作し、神楽門前湯治村で販売しています。グッズは千羽鶴未来プロジェクトにデザインしていただきました。就労センターあっぴは、自分たちの手で缶バッジやマグネットの製作ができるようになりたいという思いから練習を重ね、すまいるスタジオと一緒に職人を育てる取り組みをしています。



4.御朱印帳プロジェクト

現在、千羽鶴ファクトリーチーム6事業所の10名が協力して「御朱印帳」を製作しています。24枚の再生紙を貼り合わせていく作業は難易度が高いのですが、製作に携わる利用者の皆さんと一緒に試行錯誤を重ねながら、少しずつコツをつかみ、誰もが認める御朱印帳が製作できるようになりました。回数を重ねるごとに、利用者の皆さんの表情が良くなり、「難しいけど、1冊製作できたときに達成感が感じられて嬉しい。」「もっときれいに、クオリティの高い御朱印帳が製作できるように頑張りたい。」と前向きに作業へ取り組まれています。随時、体験会を開催しておりますので、興味のある事業所は、是非ご連絡ください。



私達は、障がいのある人たちが生き活きと働き、暮らしていくための支援になるよう、ファクトリーチーム全体で活動を進めたいと思います。引き続きよろしくお願ひします。

【お問い合わせ先】すまいるスタジオ TEL082-240-9400

イベント報告

今年は、桜の開花期間が例年より長く感じられました。春爛漫の良い気候の中、様々なイベントが開催されました。出店事業所からイベントの様子を報告頂きました。

4月5日（金）～14日（日）春のグリーンフェア；広島中央公園自由広場 主催；広島市・（公財）広島市みどり生き物協会等 **6事業所出店**

桜も満開の4/6（土）、春のグリーンフェアに参加しました。春というより夏に近い暖かさで、お客様もたくさん来られ、大変な賑わいでした。工房ともではクッキー、ケーキ、フランクフルトの販売をしました。販売に参加した利用者にお菓子を買ったお客様から「頑張ってるね」と声をかけて頂き、これからの仕事の励みになりました。販売の傍ら、写真スポットで撮影会をしたり、花見をしたりと、楽しいイベントでした。（文責 工房とも 中嶋涼子）



4月14日（日）スケート感謝祭；ひろしんビッグウェーブ **5事業所出店**



当日は天気も良く、朝から多くの家族連れでにぎわいました。作業所の自主製品に興味を示してくれる方も多く、販売だけでなく、商品に対する色々な意見をいただくことができました。直接お客様から商品に対する生の声を聴く貴重な機会となりました。また、「おもてなしコーナーは何？」とビッグウェーブに初めて来られる方もおられました。

作業所の名前がわかるようなものを持ってきていなかった為、十分な説明ができなかったのはとても残念でした。いつも参加しているイベントでも、1度限りのイベントでも、作業所のことを知ってもらえる貴重な機会だということを意識しておかないといけないと改めて認識したイベントでした。（文責 作業所わくわく 田中 伴恵）

4月27日（土）広島県中央メーデー；広島市中央公園 **10事業所出店**

「メーデー販売」に初めて参加させていただきました。風が強く肌寒い一日でしたが、たくさんの方に見てもらえることができ、多くの方と触れ合うことが出来ました。かざぐるま舎は革細工・レジンアクセサリーなどを販売いたしました。特にカーブ商品については、成績が思わしくないという話題などでお客様とコミュニケーションをとることができ、利用者も職員も楽しい時間を過ごせました。またこれからも参加できれば、もっといろんな工夫をしてみたいです。（文責かざぐるま舎 太田 孝恵）



4月28日（日）横川ふしぎ市；横川商店街 **3事業所出店**



毎年参加させていただいている「横川ふしぎ市」ですが、今年で24回目を迎えました。今回は、4月にしてはとても寒く、たくさんの方に来ていただけるか少し心配もありました。しかし、パレードやちんどんや演奏など、にぎやかさが増していくにつれ、多くの方が来場されました。ふれあい作業所は、自主製品の「チュールたわし」や「毛糸たわし」、食器類やキッチングッズといった遊休品の販売をさせていただきました。「横川ふしぎ市」の販売は、販売を通して地域の方との交流はもちろんですが、かよこバスのパレードやちんどんや演奏、コスプレの人やゆるキャラなどを見ることができ、とても楽しい時間を過ごすことができ、「また来年が楽しみだね。」と思うお祭りです！（文責 ふれあい作業所 清水麗子）

2019年度第1回広島市就労支援センター運営協議会の報告

5月13日(月)に、行政職員2名のご参加を頂き、育成会総合福祉センターにおいて、当センター運営協議会第1回定例会を開催しました。平成30年度の事業報告及び収支決算について報告し、協議頂きました。広島市からの委託事業である当センターでは、納品販売等による手数料等の収益が一切ないため、各事業所が製作した商品の販売をお願いしている店舗等への納品額、イベント支援を行った各事業所の売上額などの合計を取扱額としています。平成30年度の実績は、29年度に比べて2.7%の減額(店舗委託販売は前々年度比101.8%でしたが、官公需が前々年度比84.3%)でした。費用対効果は1.73(前々年度1.79)で、若干下がりました。官公需の納品額が下がっていますが、市就労が事業所を紹介した後は、直接発注・納品となっているものも多くあり、数字には表れない貢献があるのではないかという意見を頂きました。今年度も引き続き就労支援施設としっかり連携し、当センターの役割が果たせるよう努めることを約束し会を終えました。

火曜日は広島市役所・安佐北区役所等で出店販売しています！！

広島市役所1階ロビー、安佐北区(区役所、総合福祉センター) 出店販売

6月、7月の出店販売日は下記のとおりです。パン、クッキー等の食品を中心に販売しています。販売時間は12:00~13:00です。

広島市役所1階ロビー(東側)				
出店販売日		事業所(1)	事業所(2)	事業所(3)
6月	4日	WIND えのみや	おりづる作業所	みのり作業所
	11日	SOAR きつつき	アイサンサン作業所	なないろ作業所
	18日	レインボー	アイラブ作業所	かざぐるま舎
	25日	広島どんぐり作業所	元気工房やる気まんまん	—
7月	2日	WIND えのみや	おりづる作業所	—
	9日	SOAR きつつき	安芸の郷	なないろ作業所
	16日	レインボー	ワークハウススマイル	かざぐるま舎
	23日	広島皆賀園	おりづる作業所	みのり作業所
	30日	もみじ作業所	元気工房やる気まんまん	つくしんぼ作業所

出店販売日		安佐北区役所1階ロビー	安佐北区総合福祉センター2階
6月	11日	つくし工房	亀崎夢ひろば
	18日	可部つちくれの家	—
	25日	亀崎夢ひろば	可部つちくれの家
7月	10日	—	亀崎夢ひろば
	23日	亀崎夢ひろば	可部つちくれの家

市就労新職員紹介

6月3日(月)より、此谷玲緒奈・五藤明美の後任に、新しく 山根 博美(やまね ひろみ)が着任しています。引き続きよろしくお願い致します。